

プロフィール

齋藤 徳美(さいとう とくみ)

岩手大学理事(地域連携担当)・副学長
全国的にも知られるようになった産学官連
携組織である岩手ネットワークシステム(IN
S)の創設に携わり、長く運営委員長を勤め
る。法人化と共に、岩手大学の地域貢献の
戦略的拠点である「地域連携推進センター
」を統括。岩手県総合計画の起草、岩手
山防災、国内最大産廃対応などで培った、
行政・産業界・報道機関・地域住民等との
人脈をフルに活用して、大学を核にした新た
な地域連携体制の構築を目指す。



岩手大学の産学官連携手法

他大学・研究機関

産業界

国、地方自治体

産学官民交流組織

INS
(岩手ネットワークシステム)

- ・会員数1030名
- ・36の研究会

IEN
(岩手県教育研究ネットワーク)

- ・31研究会、教職員
大学教員が参加

AFR
(岩手農林研究協議会)

- ・会員数230名
- ・29の研究会

岩手大学

- ・スタッフ : 819名 (うち教員434名)
- ・学生 : 5,365名 ・大学院生:879名
- ・予算(H15) : 128億円 (うち外部研究資金10億円)

地域連携推進センターの設置

岩手大学地域連携推進センターは、大学教育研究の進展への寄与、知的資産の産業界や住民への還元、地域振興と住民の生涯学習への貢献、知的創造サイクルの確立、を目的として平成16年4月に設置

地域連携担当理事・副学長

地域連携推進センター

地域共同研究センター

改組

機器分析センター

生涯学習教育研究センター

インキュベーション施設

知的財産本部機能

企画管理部門

リエゾン部門

知的財産移転部門

機器活用部門

生涯学習・知的資産活用部門

地域司法部門

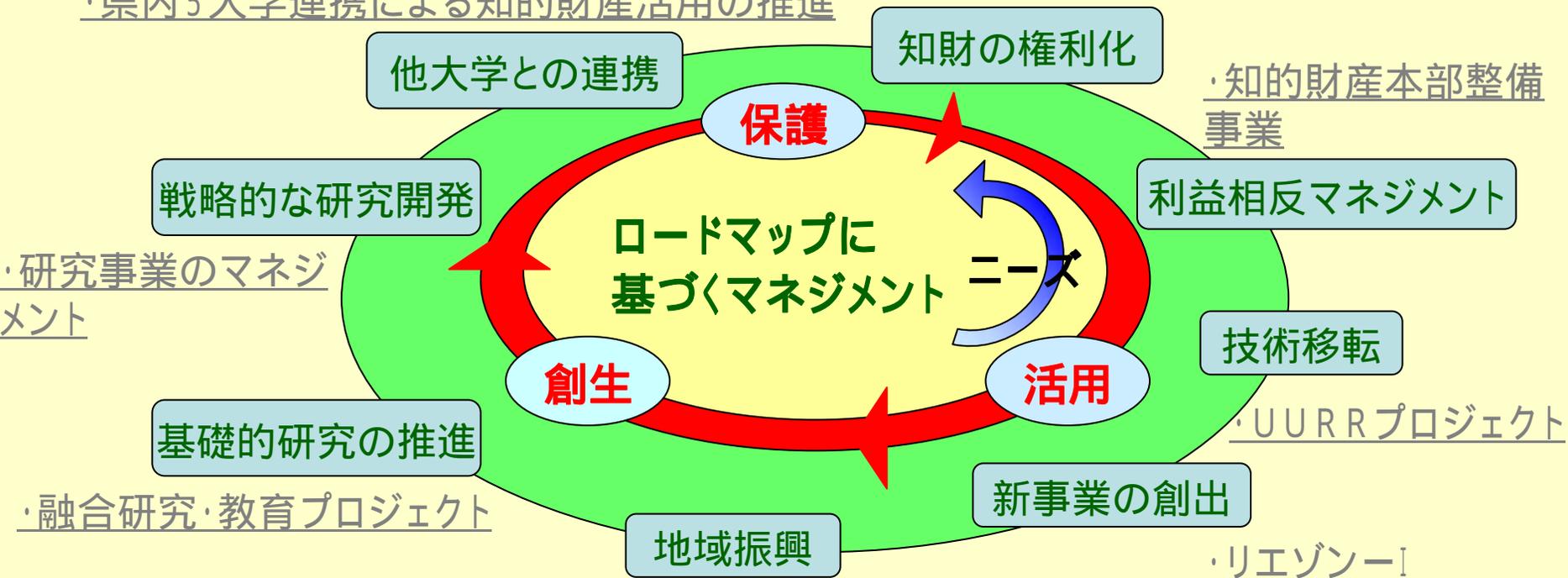
【スタッフ】

・教員	8名
・コーディネータ	8名
・共同研究員	5名
・プロジェクトスタッフ	10名
・客員教授	12名
・職員	12名
計	55名

知的創造サイクルの確立に向けて

・他大学との共同研究

・県内5大学連携による知的財産活用の推進



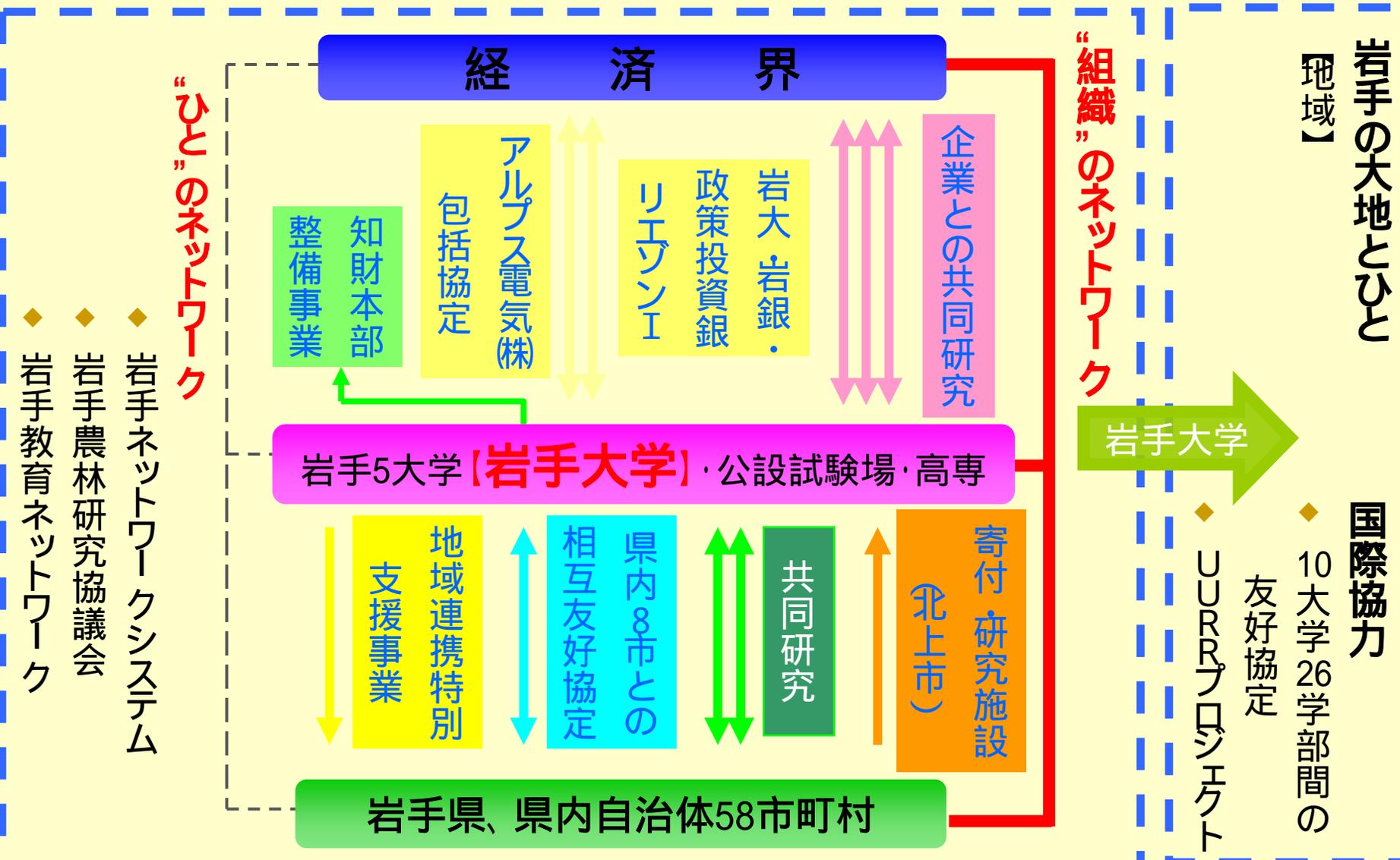
・融合化ものづくり研究開発センター構想

・自己革新型ものづくり企業群創生プロジェクト構想

(経済産業省東北経済産業局と連携して具体化を推進)

新たな地域連携体制へのステージアップ

岩手の“大地”と“ひと”と共に



自己革新型ものづくり企業群創生プロジェクト構想

融合化ものづくり研究開発センター

- ・基盤技術(金型・鋳造技術)に焦点
- ・産学官連携による技術ロードマップの作成

【人材育成】

高度技術者の育成

- ・鋳造、金型技術分野等の「ものづくり大学院専攻コース」等
- ・企業ニーズを反映したカリキュラム
- ・長期のインターンシップの実施

【技術開発】

超精密金型、高性能・複合部材、マイクロメカニズムの開発 等

求められる技術、
人材の調査

- ・技術指導者の提供
- ・若手技術者の派遣
- ・インターンシップの受け入れ
- ・人材・新技術の提供

ものづくり企業

国・地域産官

ものづくり支援の新たな支援政策の導入・連携